愛妻日記 ～重松清「愛妻日記」より～（2006）

メディア 映画
ジャンル エロティック　ドラマ
製作国 日本
時間 68分
初公開日 2006/09/23
公開情報 松竹
映倫 R-18

【解説】
　重松清の同名小説をもとに、オリジナルビデオで活躍する橋本浩介が脚本を書き、「ちゃんこ」のサトウトシキがメガホンをとった官能ドラマ。「やわらかい生活」で脚本を書いた荒井晴彦が脚本監修を務めた。
　まじめだけが取り柄の平凡な小田には、あやねという妻がいた。しかしなかなか子供ができず、夫婦二人だけの生活や関係が維持できるのか、小田は不安で仕方がない。そんなある夜、帰宅した小田はドアノブに青い手錠がぶら下がっているのを見つける。彼はその手錠を使って妻あやねを辱め、彼女もそれを受け入れ始めていた。妻の陵辱に昂ぶりを覚える小田だったが、実は青い手錠はあやね本人が仕掛けたものだった。

【クレジット】

監督	サトウトシキ	
製作	中島智彦	
	森重晃	
	佐藤憲夫	
	成田尚哉	
プロデューサー	西村大志	
	吉田繁	
	吉原勲	
	東快彦	
原作	重松清	『愛妻日記』（講談社刊）
脚本	橋本浩介	
脚本監修	荒井晴彦	
撮影	広中康人	
美術	黒須康雄	
編集	金子尚樹	
音楽	遠藤浩二	
照明	高田賢	
録音	吉田憲義	
助監督	堀禎一	
出演	永井正子	
	戸田昌宏	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.